

団体名	北海道当別町
会計名	水道事業会計

③ 職員数

(i) 推移表

(単位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	9	9	9	9	8	9
実績(見込)値(B)	9	10	9	9	8	
乖離値(C) (A-B)	0.0	▲1.0	0.0	0.0	0.0	1.0
乖離率(D) (C/A)	0.0%	-11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響人数(単位:名)					備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
水道料金収納率の低下に伴う徴収体制の強化による増員(平成20年度)		1				上下水道課内における配置の見直し
合計	-	1	-	-	-	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

平成20年度において主に水道料金収納率の低下に伴う徴収体制の強化による上下水道課内における配置見直しによる増員。

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

平成21年度以降は上下水道課内の配置の見直しにより計画とおりの職員数となる見込み。

団体名	北海道当別町
会計名	水道事業会計

④ 改善額

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	8	8	6	4	11	37	26
実績(見込)値(B)	4	-	8	8	17	37	
乖離値(C) (B-A)	▲ 4.0	▲ 8.0	2.0	4.0	6.0	0.0	11.0
乖離率(D) (C/A)	-50.0%	-100.0%	33.3%	100.0%	54.5%	0.0%	42.3%

(ii) 要因分析

改善額合計の 未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計	
休職職員の補充による増加	4					4	
水道料金収納率の低下に伴う徴収 体制の強化による増員による増加		8				8	
合計	4	8	-	-	-	12	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

平成19年度においては、職員1名が休職していたことなどにより職員を計画より1名増員したことによる。
尚、平成19年度の職員数の実績が計画と同数(9名)となっているが、このことは平成19年12月に休職していた職員1名が退職したことによる。
平成20年度においては、主に水道料金収納率の低下に伴う徴収体制の強化による上下水道課内における配置見直しによる増員による増加である。

(iv)改善に向けた取組み及び今後の見通し

平成21年度以降は上下水道課内の配置の見直しにより計画とおりの職員数となる見込みによる改善額が見込まれる。また、平成21年度から営業収益(その他)において、下水道使用料徴収受託料の単価の見直し(1件当たり150円→200円)による収益の増加を見込む。

団体名	北海道当別町
会計名	水道事業会計

⑥ 累積欠損金比率

(i) 推移表

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)	0.8					
乖離値(C) (A-B)	▲ 0.8					
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)	
	計画目標値算出時(A)	実績見込値算出時(B)
分母(営業収益等)		
分子(累積欠損金)		
累積欠損金比率		

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考
合計	-	

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因
	計画目標値(A)	実績見込値(B)		
平成19年度	15	▲ 4	19	給水量の落ち込みに伴う給水収益の減少
平成20年度	20	17	3	給水量の落ち込みに伴う給水収益の減少
平成21年度	19	29		
平成22年度	19	29		
平成23年度	28	37		
			合計	22

団体名	北海道当別町
会計名	水道事業会計

⑦ その他

(i) 計画及び執行状況の公表状況

計画については、ホームページにて公表済み。
執行状況については、ホームページにて財政健全化計画等執行状況調書を公表済み。

(ii) 計画及び執行状況の議会への説明

計画については、議会委員会にて報告済み。